

経営比較分析表（平成30年度決算）

和歌山県 日高川町

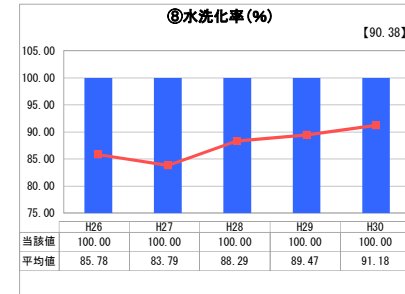
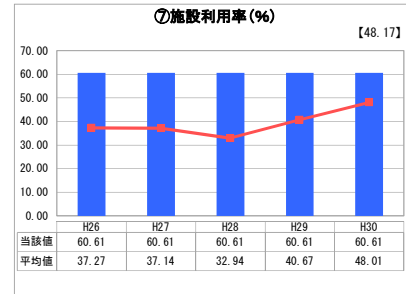
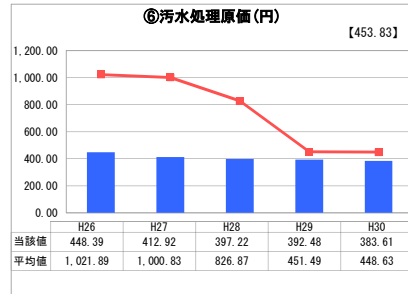
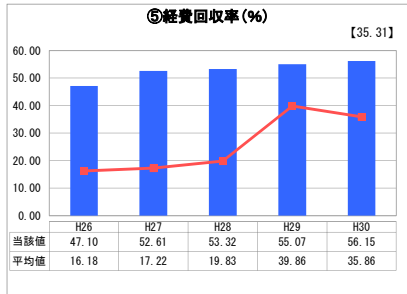
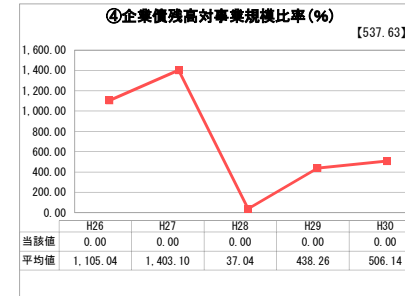
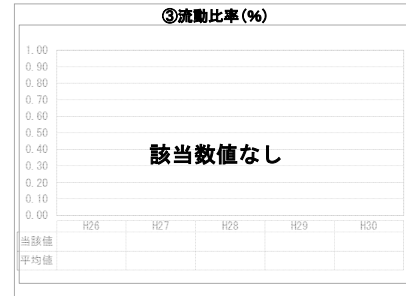
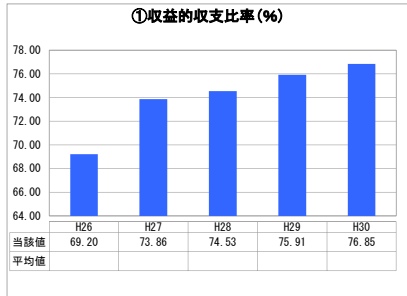
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	林業集落排水	G2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	0.82	100.00	4,000

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
9,944	331.59	29.99
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
81	0.07	1,157.14

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

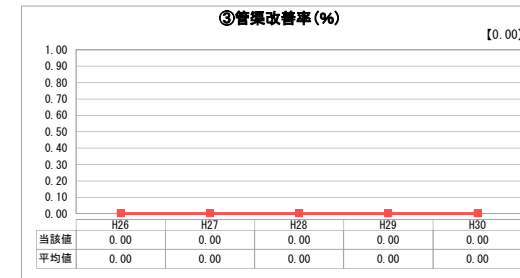
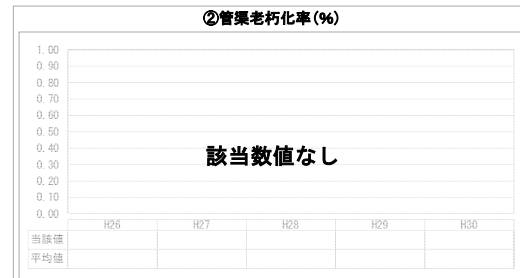
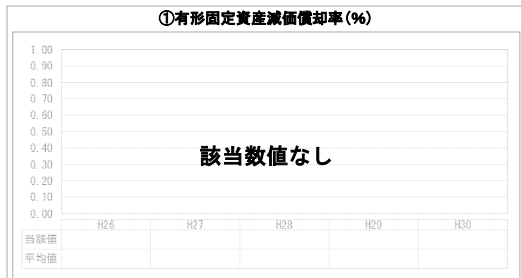
1. 経営の健全性・効率性について

下水道事業（林業集落排水）については、①収益的収支比率は少しずつ改善されている。④企業債残高対事業規模比率は地方債現在高合計を一般会計で負担している。⑤経費回収率は数値の改善が見られる。⑥汚水処理原価も少しだけ数値は改善されている。⑦施設利用率は変化なし。⑧水洗化率は100%である。全体として全ての指標において全国平均及び類似団体平均値と比較して良好な数値である。しかし、収入財源が乏しいことから、平成30年度についても、修繕費用の支出はあった為、収益的収支比率はやや改善している状況に留まっている。

2. 老朽化の状況について

処理施設、管渠についても20年を経過していないが、今後老朽調査も視野に入れて行かなければならない。

2. 老朽化の状況



全体総括

林業集落排水地域が山間部にあることから、処理区域人口が少なく、今後新たな人口増は見込めないことから、効果的な修繕費用を抑えて行く施策を考えなければならない。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。